

# まちのわだい

～カメラスケッチ～



## さまざまな遊びで交流



## 訓中3年生とわくわく園5歳児

訓子府中学校3年生31人とわくわく園5歳児31人が異年齢世代の交流を目的として、昨年12月14日と15日に交流会を開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、交流人数を半数にして、2日間に分けて開催しました。

中学生が準備した手作りおもちゃや射的、紙芝居、絵本の読み聞かせなど、さまざまな遊びを通して楽しく交流を深めました。

## ひだまりとわくわく園でクリスマス会

ひだまりで昨年12月18日に、わくわく園で24日にそれぞれクリスマス会が開かれました。

ひだまりでは、日出在住の古沢美佳さんによるエレクtoonミニコンサートが行われ、演奏に合わせて、子どもたちは手作りのマラカスを振りながら楽しんでいました。

わくわく園では吉田園長による手品などが披露されたあと、サンタクロースが登場して一人一人にプレゼントが手渡され、園児たちは大喜びでした。



## わくわく参観日

### みんながんばったよ

わくわく園のわくわく参観日が、昨年11月18日に3歳児、20日に4歳児、25日に5歳児と各年齢ごとに分散して行われました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年開催している「発表会」を中止し、参観日で保護者などに披露しました。

園児たちは劇やオペレッタ(小歌劇)などを熱演し、会場の保護者からは温かい拍手が送られていました。



## 町内小中学校に牛乳プリン贈呈

北見地区農業振興連絡協議会ときたみらい酪農振興協議会から、牛乳消費拡大の取り組みの第2弾として、町内小中学校に学校給食用牛乳プリン490個が、昨年11月30日に贈呈されました。

JAきたみらい齊藤専務や町酪農振興会渡邊会長は、「牛乳プリンを食べて、新型コロナウイルスに負けないでください」と力強い言葉を話していました。

牛乳プリンは12月9日に、給食メニューとして提供されました。



## 自分自身を知り、楽しい人生を

多くの人が笑顔で生き生きと輝く人生を送り、笑顔があふれるオホーツク地域になるよう活動しているオホーツク司法書士事務所の矢筈原代表を講師に招き、昨年12月12日に公民館講座として「しつもん ワークショップ」が開かれました。

ワークショップでは、質問を通して自分を知ることとして、グループごとに相手の良さなどを伝え合い、矢筈原氏は「自分自身と対話し、自分を知ることによって楽しい人生を送ってほしい」と話していました。



## 今月の1枚

町の素敵な瞬間を紹介しています。

今月は「雪山」です。

